

会 議 録

1 会議名

令和3年度第11回直江津区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【報告事項】

- ・なおえつ うみまちアートの開催結果について（公開）
- ・なおえつ保育園の民間移管について（公開）

【協議事項】

- ・「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について（公開）

【自主的審議事項】

- ・直江津まちづくり構想について（公開）

3 開催日時

令和3年11月16日（火）午後6時30分から午後7時47分

4 開催場所

上越市レインボーセンター 多目的ホール

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 中澤武志（会長）、青山恭造（副会長）、田中美佳（副会長）、
磯田一裕、今川芳夫、河野健一、久保田幸正、竹田禎広、田中 実、
田村雅春、林 昌宏、古澤悦雄、丸山岳人、水澤敏夫、水島正人
（欠席者3名）
- ・企画政策課： 志賀参事、上石主事
- ・保育課： 小山課長、小山副課長、丸山係長
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：中村センター長、小川係長、千田主任

8 発言の内容

【中村センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【中澤会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：竹田委員、丸山委員に依頼

議題【報告事項】なおえつ うみまちアートの開催結果について、担当課へ説明を求める。

【企画政策課：志賀参事】

- ・挨拶
- ・資料1「なおえつ うみまちアート 事業報告」に基づき説明

実行委員会では、決算をしっかりと行い、監査を受けて今年度の事業を終了させていただき段階である。担当課として予算を提案し、4月からの地域への説明会などを経て、イベントを実施させていただいた。皆様方からの意見を反映しながら9月26日の閉会まで向かってきた。直江津でこのイベントが成功したのは皆様のご協力のおかげだと思っている。今回、運営にあたっては、高校生をはじめ、いろいろな方に各会場のスタッフとして参加いただいた。もう1回やりたいというような思いをもった人たちが出てきている。また、各団体からは小さいものから大きいものまでいろいろな取組をやっていただいたことで、うみまちアートがさらに盛り上がった。我々事務局では、直江津のまちに賑わいを少しでも創出できたのではないかと、評価しているところである。資料をご覧ください、何かご意見をいただければ、次回に生かせるよう考えていきたい。

【中澤会長】

説明に対し、質疑を求める。

【田村委員】

2点お聞きしたい。

1点目、アンケートだが、これは会場に来た方へのアンケートである。上越市の人口から見れば圧倒的に少ない。では、なぜ来られなかったのかをきちんと検証する必要がある。私は、直江津の魅力として、夕日がすごく綺麗だと思っている。そういう自然環境の素晴らしさを上越市民に伝えてほしいという取組がなかったのかなと感じた。

2点目、公共交通を利用した人はどのくらいいたのか。これが全然資料に載っていない

い。例えば、市内もしくは市外から、徒歩・自転車・自動車・バス・電車のどの手段で来たのかをきちんと検証する必要があるのではないか。また、今回の8月、9月の実態とコロナ前の8月、9月の実態では、どう異なるのか。そういう分析が全くされていない。ただ、来た人の意見だけを聞いて、「成功した」というのはどうかと思う。

【企画政策課：志賀参事】

我々も分析していないところもあるので、もう少し深掘りしながらやっていきたいと思う。

【中澤会長】

他にいかがか。

【磯田委員】

「うみまちアートの事業報告」に非常に高邁な目的をうたわれているが、事業報告のほかにこの目的を達成できたかなど事業評価は、いつ、どのような形で市民にオープンにするのか。また、実行委員会でどのような意見が出され、次年度以降の方向性について触れられていたのかお聞きしたい。

【企画政策課：志賀参事】

10月22日の第5回実行委員会の時に、この資料を基に意見交換をさせていただいた。最終的には、この事業概要に決算も含めて最終的な評価が見えるような形で出していきたいと思う。

実行委員会の中では、この事業の成果・課題についてと、今後の方向性についての2点について、意見交換を行った。それをまとめて、最終的な報告書としたいと思っている。今、決算と並行してまとめているので、もうしばらく時間がかかるかと思う。

委員の皆様からの具体的な意見としては、前半は事業の中身が見えなかったため、周知不足だった。その一方で、スタートしてからは2か月間という期間が逆に功を奏し、周知も含めて取組が広がったため、直江津に普段いらっしゃらないような人がリストバンドをして歩いている風景が見られ、賑わいがあったという意見をいただいている。全体的には、アートをテーマにしたイベントはよかったという評価をいただいたが、情報発信が遅い、事業費が妥当だったのかどうかといった意見もいただいている。

また、市民団体の皆様から、2か月間ご協力いただいたことは、実行委員会の中でも評価が高く、毎週のようにいろいろな取組が行われたことにより、市民団体の皆さんの想いが、このイベントの中でそれぞれ発揮できたと評価をいただいた。

今後の方向性については、1回で終わるのではなく、継続したほうが良いというお話をいただいている。あわせて、事業費や内容の規模、準備期間、開催の周期などについて意見をいただいている。

【中澤会長】

私は、ライオン像のある館の会場と、船見公園の会場は、何度か見させてもらった。それなりに良かったと思っているが、現代アートであるため、なかなか取っつきにくい部分があって、それはどのように評価されるのかという思いがあったが、これまで直江津ではこういうアートに関する企画はなかったから、そういう面では良かったと思っている。

最終的に総括みたいなものはあるのか。

【企画政策課：志賀参事】

書面としてまとめたいと思う。

【中澤会長】

承知した。

— 企画政策課 退室 —

【中澤会長】

次に【報告事項】なおえつ保育園の民間移管について、担当課へ説明を求める。

【保育課：小山課長】

・挨拶

なおえつ保育園の民間移管については、平成31年2月に市が策定した「上越市保育園の再配置等に係る計画」（第3期）に基づく取組の一つとして、公立保育園の民間移管を進めており、これまで地域協議会の皆様に進捗状況等を報告してきた。本年2月には、なおえつ保育園を公の施設としては、令和4年4月1日に廃止することに伴う諮問を行い「地域住民の生活に支障がない」という答申をいただいている。

資料の説明の前に、公立保育園の民間移管の概要について改めて説明させていただく。第3期の再配置計画は、令和元年度から4年度までを計画期間としており、基本方針を「安心して子育てができ、持続可能な保育環境を整える」とし、この計画に基づく取組の一つとして、公立保育園の民間移管に取り組んでいる。移管の場合は、私立保育園となるが、公立保育園と同じく関係法令を遵守して運営するほか、今回の移管では公立保育園が行っている保育内容や年間行事を原則そのまま引き継ぐこととしている。昨年度

から移管に向けて保護者や移管先法人とも協議や調整などを行いながら準備を進めている。本年4月からは、移管先法人の職員と市の職員が合同で保育を行う合同・引継保育を1年かけて実施している。

・資料No.3「なおえつ保育園の民間移管について（報告）」に基づき説明

【中澤会長】

説明に対し質疑を求める。

【古澤委員】

説明は保育園関係者対象だが、地域住民への周知方法等はどのような予定か。

【保育課：小山課長】

今まで、地元の町内会長にその都度ご説明をしてきた。今回も、地元の町内会長に、話をしていきたいと考えている。

【古澤委員】

私も町内会長だが、それはいつ頃にあるのか。

【保育課：小山課長】

住民の皆さんから集まっていたの説明会は、今まで実施していないが、折に触れ、町内会長様宛てに、その時々状況等を文書でお知らせさせていただいた。今、お話をいただいたことも含めて、現状を町内会長を通じて、回覧文書で対応させていただきたいと思っている。

【田村委員】

1点目、昨年度、公の施設から私立になるのは賛成した。その時に、ここで働く人たちの待遇問題はどうか質問をしたと思う。例えば、市職員から民間に移ったときにそのまま正職員になるのか。それは、企業が定めることだが、正規、非正規は、どうなるのか。

2点目、園長を含めて、保育士5人だと書いてあるが、本当に5人でやれるのか。

3点目、今、政府で困窮者の支援金の形で、看護師、介護士、保育士も含まれると思うが、9,000円から1万2,000円の平均賃金が下がっているということで、それはそのまま政府の法令に基づいて実行されるのか。つまり、公から私立にいくと賃金が下がる傾向が見えている。だから、非正規を増やすだけではないかと懸念している。

【保育課：小山課長】

1点目の職員配置については、運営する法人の方で現在、職員採用を積極的に進めてい

る状況の中で、希望に沿った形で対応している。

2点目の保育士5人については、現在、合同・引継保育のために移管先法人から来ている保育士が5人ということで、全体的には、調理員等も含めると約50人の規模で園を運営している。来年そのすべてが移管先法人の職員に変わることになるが、今年度は、園長予定者1人と保育士5人、調理員2人の計8名から来ていただいて合同・引継保育をしている。3点目の賃上げの関係だが、新聞報道では9,000円ということになされている。それで、費用の支払い方についても、私どもも、まだ新聞報道でしか把握できない状況であり、どのような形で、実際保育士をされている方に渡るのは、今後、詳細が出てくるかと思う。私どもとしても、適切な事務処理に基づいて、ご本人に渡るように対応していく予定である。

【中澤会長】

今、アレルギーを持っている子どもが多いということで、給食の引き継ぎはうまくいくのか。

【保育課：小山課長】

昔は、そばとか小麦とか、ある一定の少数の食べ物に反応されるお子さんがほとんどだったと聞いている。私の同級生でもアレルギーだという話はほとんどなかった世代である。今は、20種類ぐらいのアレルギーがあるということで、給食では意を用いながら提供している。アレルギーは生死の問題も関わってくるということもあるので、より慎重に引継ぎの中で対応しているという状況である。一方で、途中でアレルギーが改善されるお子さんもいるので、家庭で食べていただいて問題がなければ、保育園でも提供するという対応をとり、その子の食生活が豊かになるような支援にも取り組んでいることをご理解いただければと思う。

— 保育課 退室 —

【中澤会長】

次に、【協議事項】「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組についてだが、意見交換会は、ここ数年町内会長や各団体と定例的に行っているの、継続していきたいと思う。

会議の運営については、議題によってはグループ討議を取り入れてやっていきたい。地域協議会だよりは、古澤委員から読みやすくしたほうが良いのではないかという意見をいただいて、写真を多くし、活字の大きさを工夫する。事務局としては2人ほど編集

委員を出してはどうかという案がある。どなたか、立候補していただけないか。

【小川係長】

今、12月25日に配達予定の広報上越と合わせて、発行したいと考えている。内容は、これまでの会議の報告、視察研修の報告、地域活動支援事業の事例紹介を写真を入れながら作成したいと思っている。その次は、年度末で例年だと地域活動支援事業の報告、募集説明会のご案内だが、現時点では未定である。

【古澤委員】

私たちが基礎から作るのか。情報提供だけで良いのか。

【水島委員】

具体的にもう少し詳しく説明をしていただきたい。

【中澤会長】

事務局に今年地域協議会だよりの内容の説明をあわせて求める。

【中村センター長】

- ・資料No.4「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について（各地域協議会において取組を検討する項目）の「直江津区の現状」の部分の説明

事務局としては、ある程度構成や原稿ができた時点で、地域協議会委員、また、住民としての目線で確認いただくということを考えている。

【古澤委員】

私の両隣から、「やろうか」という声が聞こえてきたのでお願いしたい。私を含めて丸山委員と林委員が編集委員に入るといふことでよろしいか。

（異議なし）

【中澤会長】

次に【自主的審議事項】直江津まちづくり構想について、事務局へ説明を求める。

【小川係長】

- ・資料No.5『直江津まちづくり構想について』の審議の進め方について」に基づき説明

【中澤会長】

やり方として、一つずつやるか、それともまとめてやるかだと思ふ。事務局では12月にどれぐらい時間がとれる予定か。

【中村センター長】

概ね1時間ぐらいと思っている。ただ、協議会の皆さんのほうで、もっと頻度を上げ

たり、時間をかけて進めれば良いではないかということであれば可能である。1か月に1回のペースにプラスして委員研修を特別に設けたとしても、協議の時間はおおむね1時間ぐらい設けられるかと想定している。

【中澤会長】

委員研修のときに、1時間ぐらい設けるということか。

【中村センター長】

12月定例の協議会の中で1時間ぐらいである。

【磯田委員】

1回に3団体と意見交換は、実質的にできないと思う。意見を聞くみたいな話になってしまって、前にも話したではないかという状況になると思う。我々との本当の意見交換、あるいは、視察に行った我々の感想や気持ちも含めて議論していくとすれば、1日1団体が良いと思う。今年中に3団体とやらないといけないという縛りはなし、年度中に3団体できれば良いのではないか。一つの課題ごとに議論の深掘りをして、そこに各団体との接点というか、寄り添っていく姿が、感じてもらえるような協議会の運営のほうが良いと思う。

【中澤会長】

3団体一緒にはできないと思うので、視察に行った三八朝市周辺まちづくり協議会と福島城を愛する会に都合を聞いてもらいたい。それから質問、意見等を出してもらったが、これに付け足すことがあったら、また事務局のほうに寄せていただければと思う。

【磯田委員】

その時にどういうスタイルで意見交換するか、少し議論しておいたほうが良いと思う。私は、全員が一つのテーブルでというのもありとは思いますが、もう少し話しやすい雰囲気、グループワークみたいな形で、委員と会の人と一緒に作った班を3つぐらい作って、車座議論みたいな感じの意見交換が良いような気がする。

【中澤会長】

三八朝市周辺まちづくり協議会に声をかけていただいて、12月に来ていただく。それから、年が明けてから福島城を愛する会に声をかけるという形で、持っていきたいと思う。今後の日程について事務局へ説明を求める。

【中村センター長】

大雪災害対応の検証とうみがたりの状況についての報告を同日で実施したいと考えて

いる。これは、定例の地域協議会とは別に委員研修として日を設けて、12月に開催することで検討している。それと別に、定例の会議は予定どおりで、こちらについては、三八朝市周辺まちづくり協議会に声掛けしながら、団体との意見交換を進めていくという形で考えていきたい。

大雪災害対応の検証については、担当課に対して質問があれば、11月25日までに送っていただきたい。

【中澤会長】

いっごろ委員研修をする予定か。

【中村センター長】

素案だが、12月16日か17日で開けたらと考えている。

【中澤会長】

その他に何かあるか。

【小川係長】

地域活動支援事業で直江津港周辺活性化協議会が提案した、海鮮市場について、当初提案では12月上旬に開催を予定していたが、コロナ禍の状況等で検討が進めなかったため、延期したいという連絡があった。協議会で検討した結果、3月の開催を目指して、変更の計画案を練っているということで、ご連絡させていただく。

【中澤会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。